



# 東京全労協

2013年11月28日 59  
 東京都港区新橋6-7-1  
 川口ビル6F  
 TEL. 03 - 5403 - 1650  
 FAX. 03 - 5403 - 1653  
 発行人 瀬藤 朗  
 定価 1部 10円



昨年(第23回)の大会の状況

安倍首相は「アベノミクス」と称する大企業優先の経済政策を押し進め、多くの国民が反対したにも係らず消費税は8%に増税され、われわれ労働者の生活は置き去りにされ貧困と格差が拡大しています。また、尖閣諸島などの領有権問題を口実に9条改憲や集団的自衛権、特別秘密保護法案設置など国内だけに及ばず周辺諸国へも危険視される政策を次々と押し進めています。福島第一原発事故では汚染水が海に漏れ出ているにも係らず、東京オリンピック招致のプレゼンで「完全にブロックされている」などの発言は、断じて許されるものではありません。震災復興事業は後手後手のままに推移し、「ここに至って政府主導で解決する」などと、補助金額5兆円の上限枠を取り払うなど東京電力も含めその無責任さは極みに達していると言えます。

一方、デフレ、賃金抑制や正規労働者の非正規労働者への置き換えなどで、われわれ労働者の賃金は下がっている一方です。ローンの支払は言うに及ばず子供の学費の支払も困難になり自殺者の増加など、これ以上の賃金の切り下げは限界にきているといえます。

さらには生活保護金額の見直しや後期高齢者への負担の増額など、生活弱者に対して血も涙もない政策といわざるを得ません。

安倍首相は企業に賃上げを要請しましたが本来なら労使間の交渉で決めるべきものであって、それに便乗する

## 第24回 東京全労協 定期大会を 成功させよう！

安倍首相は「アベノミクス」と称する大企業優先の経済政策を押し進め、多くの国民が反対したにも係らず消費税は8%に増税され、われわれ労働者の生活は置き去りにされ貧困と格差が拡大しています。また、尖閣諸島などの領有権問題を口実に9条改憲や集団的自衛権、特別秘密保護法案設置など国内だけに及ばず周辺諸国へも危険視される政策を次々と押し進めています。福島第一原発事故では汚染水が海に漏れ出ているにも係らず、東京オリンピック招致のプレゼンで「完全にブロックされている」などの発言は、断じて許されるものではありません。震災復興事業は後手後手のままに推移し、「ここに至って政府主導で解決する」などと、補助金額5兆円の上限枠を取り払うなど東京電力も含めその無責任さは極みに達していると言えます。

断じて許されるものではありません。震災復興事業は後手後手のままに推移し、「ここに至って政府主導で解決する」などと、補助金額5兆円の上限枠を取り払うなど東京電力も含めその無責任さは極みに達していると言えます。

一方、デフレ、賃金抑制や正規労働者の非正規労働者への置き換えなどで、われわれ労働者の賃金は下がっている一方です。ローンの支払は言うに及ばず子供の学費の支払も困難になり自殺者の増加など、これ以上の賃金の切り下げは限界にきているといえます。

連合のベア要求は期待できるものではありません。反動化する政治状況、労働者を「使い捨て」にする政治と企業の横暴をこれ以上許してはなりません。今こそ全ての労働者が団結し広範な共闘・支援の仲間と共に闘うことが求められており、大会に参加した仲間の活発な議論により、東京全労協のゆるぎない闘う方針を確立しよう！

東京全労協

第24回定期大会  
 日時 13年12月7日(土)  
 13時30分開会  
 場所 千代田区飯田橋  
 3-9-3  
 SKプラザB1ホール



社前で抗議の座り込み(2013年11月18日)

「フジビ闘争」勝利をめざす、支援共闘会議(仮)に参加を！

フジビ闘争を闘う組合員たちは、労働者として当然の生活と権利を要求し、また、なによりも中小企業労働者として誇りたかく、企業労働者として誇りたかく、地域の資産家田中一族の偽装倒産・解雇と組合つぶし攻撃に立ち向かい粘り強く闘ってきました。この度、富士美術印刷(フジビ)とその創業家田中一族との闘いを超える闘い「フジビ闘争」を中心になつて支えてきた「フジビ闘争地域対策会議」をさらに発展させ、より幅広くこの闘争を支援しようとの呼びかけにより「フジビ闘争支援共闘会議(仮)」の結成が決まりました。11月8日に第1回支援共闘会議(仮)準備会が開催され、14春闘前段に結成大会をめざし準備を進めています。第2回目の準備会は、12月6日18時半から日暮里ひろば館にて行われます。ぜひとも、多くの労組からの参加をお願いいたします。

また、11月18日から29日にかけて、13秋季闘争第二弾として

「フジビ闘争」勝利をめざす、支援共闘会議(仮)に参加を！

フジビ闘争を闘う組合員たちは、労働者として当然の生活と権利を要求し、また、なによりも中小企業労働者として誇りたかく、企業労働者として誇りたかく、地域の資産家田中一族の偽装倒産・解雇と組合つぶし攻撃に立ち向かい粘り強く闘ってきました。この度、富士美術印刷(フジビ)とその創業家田中一族との闘いを超える闘い「フジビ闘争」を中心になつて支えてきた「フジビ闘争地域対策会議」をさらに発展させ、より幅広くこの闘争を支援しようとの呼びかけにより「フジビ闘争支援共闘会議(仮)」の結成が決まりました。11月8日に第1回支援共闘会議(仮)準備会が開催され、14春闘前段に結成大会をめざし準備を進めています。第2回目の準備会は、12月6日18時半から日暮里ひろば館にて行われます。ぜひとも、多くの労組からの参加をお願いいたします。

また、11月18日から29日にかけて、13秋季闘争第二弾として

### ス労、結成60周年の還暦を迎え、祝う会を開催

私達ス労は、戦前に発足した外資系石油販売会社において、1953年に全国統一組織が結成され、今年で結成60周年を迎えました。言わば還暦です。現在の組合員の構成は、現役1名、再雇用組合員が2名で、組織の大半はOGB組合員で、いずれ近い将来にス労の旗をたたむ日を迎えることになります。



そこで、60周年を迎えた今年、ス労の歴史を振り返り、お世話になった皆さまと共に語り合う場を9月22日、東京・市ヶ谷にあるホテルで開催しました。当日は全労協からは金澤議長、東京全労協からは瀬藤議長、他役員の方々のご参集をいただき、会を盛り上げていただきました。現在、企業内での主たる取組みは、一時金の学歴による差別支給の裁判です。第1次訴訟では既に「不誠実団交による原告組合員への損害賠償支払い」が最高裁で確定しました。これに続き第2次訴訟でも、先般、東京地裁で同様の判決が出ました。しかし、何れもの判決も、訴訟の本体である「格差支給の賃金請求」が却下されたため、引き続き高裁で争っていくことにしました。

全石油スタンダードヴァキューム労組 村石

# 「横田基地へのオスプレイ配備反対の申し入れを行う」

11月9日午前11時、東京全労協は、「米軍基地に反対する実行委員会」の仲間とともに横田基地への申し入れ行動を40名の結集で行った。

この行動は、沖繩平和行進に参加した組合員から「自分たちの足元の基地の問題をもっと積極的に取り組もう」、「横田にもオスプレイが配備される。反対の行動を」との声が上がり、東京全労協が中心となり「米軍基地に反対する実行

委員会」が結成され、今春に続く二度目の行動である。当日は、横田基地第二ゲートは固く閉じられ、私たちが道路を渡って門前に行くことも許さない警備体制の中で行われた。要請団が基地ゲート通用門に行くと米軍に要請書を渡そうとしても米軍関係者は、われわれを監視をするのみで受け取りに出てこない。東京全労協久保事務局長が要請文を読み上げ、「オスプレイ配備は許さないぞ!」、「横田基地撤去まで闘うぞ!」と



配備反対の要請文を読み上げ、自衛隊に手渡した(2013年11月9日)

シュプレヒコールをたたきつけた。また、自衛隊は、要請文を受け取りには来たが、「防災訓練」や「日米共同訓練」を名目にオスプレイを受け入れ、あまつさえ購入さえも行うとして

いる事実を突きつけられながら沈黙を決め込んでいた。ゲート前で、行われた集会では結集した東京労組、全水道三多摩地協、昭島市職労からそれぞれ地元で闘う決意表明を受けた。最後に一坪反戦地主会関東ブロックからは午後から行われる「海にも陸にも基地はいらない 辺野古の埋め立てをとめよう集会」への結集への呼びかけと連帯の発言があった。

## いのちとくらしを守る 10・27 第27回団結まつり開催

第27回団結まつりが10月27日(日)亀戸中央公園にて開催されました。台風の影響で開催そのものが危ぶまれていましたが、好天の中、沢山の参加者でにぎわいました。

東京全労協は昨年引き続き焼きそばで出店しました。昼前には用意した食材を完売し、行列のできる店舗となり大盛況でした。お陰様で実行委員会へカンパを行う事ができました。また天候も良く、野外でのチョットしたパーティー



の交流会にもなりました。ステージでは、争議を闘

う仲間より様々な訴えや演奏、合唱、舞踊などがありました。

争議解決に向け、当事者が訴え、参加者全体で意志統一をしてみました。フジビ闘争より当該の小金井委員長から力強い団結ガンパローを受け団結まつりは、成功裏に終了しました。

東京清掃労働組合 横須賀 博

## 中部全労協 福島・宮城スタディツアーを企画

11月17~18日、中部全労協大会方針討議合宿について、本年度は宮城全労協の仲間の協力の下、福島・宮城スタディツアーを企画し、参加を呼び掛けてきました。原発関連の学習会の開催や東京全労協の主催する宮城へのツアーなどに参加してきました。参加は11名程でしたが、東北全労協・宮城全労協の仲間の皆様のご案内で中身の濃いスタディツアーになりました。有り難うございました。



中部全労協一行は乗用車2台に分乗し、途中休憩を取りながら福島駅をめざしました。福島駅では、電通労組の高橋さんをはじめ仲間の皆さんと合流して、現地に向かいました。

走って間もなく停車したところは除染作業で出た土や草などをテレビなどで見かける黒い袋に詰め込まれた物を形を整えて仮置き場としてありました(写真上)。つまり放射性物質をかき集めてきた物を道路の脇に置かれているのでした。仮置き場とは何年を想定しているのだろうか?仮置き場とすれば何年でもという気がしてならない。

そしていくつか津波の傷跡や被災地を回り、吉沢牧場(通称:ふくしま希望の牧場)へ案内されました。

そこでは牧場主である吉沢さんから殺処分反対することや原発の責任追及などのお話を伺いました。放牧している牛は既に被曝しており、何の収入にもならない。だからと言って人間の都合で、原発の都合で殺処分が良いのか!と(写真下)。近郊の牛たちも殺処分を逃れて、やっとたどり着いたという。命の大切さを訴え、原発事故の責任追及に奔走していました。地元の組合員からの紹介で実現しました。

翌日も宮城全労協の仲間からの案内で被災地を巡り、説明を受けりことができました。1泊2日の日程のスタディツアーのご案内、大変有り難うございました。



## 働く権利 働く者の権利 人間としての権利 第155回東京総行動

貧困と格差、倒産・合併や低賃金・人減らし、国鉄(NTT)・JAL等々の新首切り方式、パワハラ・セクハラやサービス残業・過労死、不当労働行為の横行と人権感覚の衰退、TPPのでたため、公共性を否定する民営化や競争主義・拝金主義、改憲・沖縄差別・教育統制や競争への動き、派遣法など労働法制問題と司法の反動化、公務員パッシングと多国籍企業やマスコミの横暴、医療・福祉の切り捨てと生活破壊、労資

癒着構造や庶民の心まで蝕む息苦しい世相等々に、私たちは、終止符を打ちたいと願っています。非正規・女性・外国人労働者や障がい者・罹病者・被災者・高齢者等々多くの仲間と社会的な連帯を築いて、闘いを拡大していきたいと考えています。主催はけんり総行動実行委員会。

- 主な時間と場所
- 8時45分 郵政本社前
- 13時00分 トヨタ本社前
- 16時20分 JAL本社前
- 17時30分 厚労省前